Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2026-11-28

中国との学術交流について ： 北京外国語大学・神戸大学国際共同研究拠点シンポジウムを中心に

平井, 晶子

(Citation)
海港都市研究,16:79-80

(Issue Date)
2021-03-25

(Resource Type)
departmental bulletin paper

(Version)
Version of Record

(JaLCDOI)
https://doi.org/10.24546/81012834

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012834

KOBE UNIVERSITY

2020 年度 人文学研究科国際交流活動報告

中国との学術交流について

――北京外国語大学・神戸大学国際共同研究拠点シンポジウムを中心に――

平井　晶子

2016 年、神戸大学は北京外国語大学に国際共同研究拠点を開設しました。それ以来、毎年１回ずつ国際シンポジウムを開催してきました（「北京外国語大学・神戸大学国際共同研究拠点シンポジウム」）。第５回を数える本年度は北京外国語大学で開催する予定でしたが、移動制限により対面でのシンポジウムはできなくなり、一時は開催も危ぶまれました。しかし、オンラインであっても交流を続けていこうという双方の強い熱意により 11 月 28 日・29 日にオンラインによるシンポジウムが実現しました。

今年度は北京外国語大学が開催校ということで、北京側を中心にシンポジウムの準備を進めていただきました。世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、わたしたちの社会生活が大きく影響を受けるなか「疫病と人・社会」がテーマとなりました。

基調講演には神戸大学保健学科の中澤港先生をお迎えし、「感染症と人類の環境適応史」という時宜を得たご報告をいただきました。人文学研究科からは濱田麻矢先生による「神戸・文学・感染症」、松田浩則先生の「コロナ・フランス・文学」、佐々木祐先生の「コロナ禍における地方在住外国人」と、3 人の先生方からそれぞれのご専門を活かしたご報告がありました。北京側からは、日々オンラインで更新される日本文学の翻訳プロジェクトリーダー、岳遠坤先生のご報告をはじめ 4 本の報告がありました。いずれの報告者も、疫病の専門家ではありませんが、それぞれの研究を「疫病」という角度から読み直した、たいへん刺激的な報告でした。長時間のシンポでしたが、あっという間の一日でした。

二日目は大学院生によるフォーラムということで、北京側、神戸側それぞれから 3 名の大学院生が報告しました。専門学会とはちがい学際的、国際的な場での報告ということで、慣れない点もあったと思いますが、広い人文社会科学の地平から自らの研究をとらえ直す貴重な機会になったのではないかと思います。次年度以降も博士後期課程の院生の積極的な参加を期待しています。

じっくり顔をつきあわせての交流とはならず、幾分さみしさは感じましたが、研究成果を議論する場としては十分機能したように思います。またオンラインとすることでいつもより多くの方が参加してくれました。これは予想外の成果でした。それでも次回は対面で

開催できることを願っています。

■プログラム

11月28日（土）シンポジウム「疫病と人・社会」

09:00～09:15　開会式あいさつ

09:15～10:15　基調講演

中澤港（神戸大学大学院保健学研究科）

「感染症と人類の環境適応史」

10:30～11:30　岳遠坤　「コロナ時代における文学と日本社会」

濱田麻矢「神戸・文学・感染症」

11:30～13:30　昼休み

13:30～15:00　房迪　「公衆衛生危機管理における地域団体の役割」

松田浩則「コロナ・フランス・文学」

魏然　「『人民日報』のSNSにおける新型コロナ関連情報に関する発信についての一考察」

15:10～16:10　佐々木祐「コロナ禍における地方在住外国人」

武萌　「新型コロナ疫で現れる国際社会の協力精神：崩壊と真相」

16:10～17:00　全体討論

11月29日（日）大学院生フォーラム

09:00～10:15　尾田知子「J.D.サリンジャーの作品における病者と自己治癒の試み」

劉夢如　「伝染する想像力―寺山修司戯曲『疫病流行記』（1976）を中心に」

姚怡然　「満洲建国大学に関する研究総説」

10:30～11:45　何芸芃　「漢語『生活』『生産』の意味・用法に関する一考察―明治期を中心に」

徐田奇　「戦後日本社会におけるセクシュアリティ研究について」

吉水佑奈「感染と演劇―アントナン・アルトー『演劇とペスト』をめぐって」

11:45～12:00　閉会のあいさつ